

令和2年

7月22日(水)
～9月13日(日)

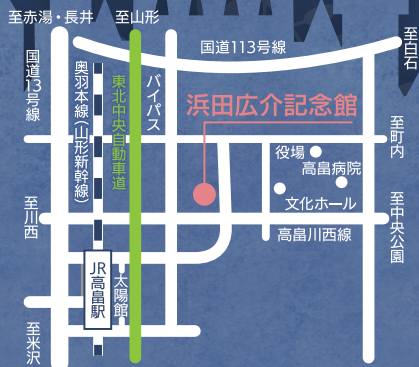


会場

浜田広介記念館
常設展示室 むんどりギャラリー 他

ひろすけと
世界の童話

令和2年度
浜田広介記念館
企画展



開館時間 9:00～17:00 (受付16:30まで)

入館料 大人/500円 学生/300円 小学生/200円

※団体料金、やまがた子育て応援パスポート割引あり

休館日 毎週月曜日 ※8月10日は開館、翌11日は休館

まほろば・童話の里 浜田広介記念館

ホームページ <http://hirosuke-kinenkan.jp/>

住所 〒992-0334

山形県東置賜郡高島町大字一本柳2110番地

TEL 0238-52-3838

FAX 0238-52-4588

E-mail hirosuke@town.takahata.yamagata.jp



ごあいさつ

広介はアンデルセン童話から深い影響を受け、そのアンデルセン童話の特徴について、「一つには、感覚がふかいということ、二つめには、ユーモアに富んでいること、三つめには、豊かな詩情を美しく表しながら、道徳性をふかめたことでしょう」（『童話文学と人生』）と述べています。これらは、ひろすけ童話の心理描写や情景描写に大きな影響を与えたものと思われます。

アンデルセン童話をはじめ、広介とかかわりのあったグリム童話、イソップ童話といった世界の童話の数々をお楽しみください。



浜田広介

～世界の童話との関わりも中心に～

近代の名作童話は、
滋養分がたっぷりあって、
諸君の心をあたためてくれ、
精神の伸びに役だつ
“心の糧”であることに、
まちがいはありません。

（浜田広介『世界童話名作集』解説より）

1893（明治26）年

5月25日、山形県東置賜郡屋代村大字一本柳（現高畠町）に生まれる。本名廣助。

1914（大正3）年 21歳

早稲田大学高等予科に入学。英訳本アンデルセン童話集を読む。

1916（大正5）年 23歳

『世界お伽話双書』の翻訳をする。

1918（大正7）年 25歳

「ソログープ論」を書いて早稲田大学英文科を卒業。春秋社に勤め、『トルストイ全集』の校正にあたり、多少の翻訳もする。春秋社を退社し、「良友」の編集者となる。

1921（大正10）年 28歳

8月、最初の童話集『椋鳥の夢』を新生社より刊行。

1923（大正12）年 30歳

実業之日本社で「幼年之友」の編集をするが、関東大震災を機に退社。以後、文筆一本で生きる決意をする。

1924（大正13）年 31歳

『トルストイ童話集』を文教書院より刊行。

1930（昭和5）年 37歳

『雪の女王』（アンデルセン）を平凡社より刊行。

1933（昭和8）年 40歳

「おにのさうだん（＝泣いた赤おに）」を発表。

1959（昭和34）年 66歳

『世界童話名作集』を偕成社より刊行。

1961（昭和36）年 68歳

『ひろすけ幼年童話文学全集』を集英社より刊行。

1973（昭和48）年 80歳

11月17日永眠。

〔中止〕

以下のコンクールは、諸般の事情により中止とさせていただきます。

- ◆第31回ひろすけ童話賞
- ◆第31回ひろすけ童話 感想文・感想画全国コンクール
- ◆第18回ひろすけ童話 造形創作コンクール（題目：おかの上のきりん）

展示 内容

浜田広介訳直筆原稿

- ◆ひろすけと世界の童話
- ◆アンデルセンとひろすけ
- ◆再話と翻訳についてなど



浜田広介訳
「しらゆきひめ」講談社



浜田広介訳
「みつばちマーヤ」講談社

浜田広介訳
「にんぎょひめ」小学館

同時 開催

むくどりギャラリー

「紙しばい展」

ひろすけ童話や世界の童話の紙芝居などを展示します。



浜田広介記念館 今後のイベント予定

夏休み 企画

ひろすけ小石コンテスト
7/19(日)～8/23(日)

ひろすけクイズに挑戦！
8/1(土)～8/30(日)

詳しくはホームページをご覧ください。

